

岐阜県立山県高等学校

学校長 伊藤 崇
学校住所 岐阜県山県市中洞44-1 電話 0581-52-1551

- 1 会議の名称 岐阜県立山県高等学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|-------|-----|
| 委員 | 荒深 幸夫 | 1期目 |
| | 鷺見 明俊 | 3期目 |
| | 前田恵津子 | 2期目 |
| | 山口 竜司 | 1期目 |
| | 山本 義明 | 3期目 |
- (委員名は五十音順)
- 学校側
- | | |
|-------|-------------|
| 廣田 直子 | P T A会長 |
| 伊藤 崇 | 校長 |
| 浅野 和道 | 教頭 |
| 磯部 典之 | 事務長 |
| 笠原 常豊 | 教諭 (教務主任) |
| 岩井 憲司 | 教諭 (生徒指導主事) |
| 山本 通広 | 教諭 (進路指導主事) |
- 3 会議の目的 岐阜県立山県高等学校の学校運営について、地域住民や有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進することを目標とする。
- 4 会議の開催 日時：平成30年6月28日(木) 9:30~11:30
場所：山県高等学校 校長室
出席者：委員3名と学校側7名が出席 (委員2名の方が都合により欠席)
- 5 会議の概要
- 9:25 委嘱書交付
9:30 学校長挨拶、出席者自己紹介
学校長より今年度の学校経営方針について説明
各分掌の指導と重点について説明1 (教務部、生徒指導部)
9:55 授業参観 (2限)
10:20 生徒会執行部による学校紹介プレゼンテーション
10:35 各分掌の指導と重点について説明2
(進路指導部、家庭・地域との連携、事務部)
意見交流 学校評議員からの提言・感想

(1) 平成30年度岐阜県立山県高等学校教育方針、学校経営計画について説明

校長より学校経営方針等について説明

- 基礎学力の定着のためにわかる授業を目指して、少人数授業、習熟度別授業、T T指導によるきめ細かい指導に努めている。
- 普通2クラス、ビジネスコース2クラスの160名定員であるが、ここ数年募集定員を満たしていない。出身中学でみると、山県市30%、岐阜市40%、関市・美濃市30%となっているが10年前は、40~50%が山県市であった。人口の減少が背景にあり、これと共に15歳未満の生徒数も減少してきている。160名の募集定員が、今後変更される可能性がある。
- 進路としては卒業生の約60%が就職を選択している。求人は大変多く売手市場とも言え、ありがたいことにはほぼ100%希望に沿って進路選択できている。

- ・地元企業の多大なご協力により、3年生全員参加の「地元企業・施設研修」は25回目を数え、地域に貢献できる人材の育成に努めている。
- ・平成31年度入学生から、普通科単位制に移行する。1年次は共通科目を履修し、2年次から希望により5類型に別れて学習する形態となる。専門校のように特化はできないが、将来に役立つ科目の設定をする。工業類型（仮称）は専門の教員が校内にいないため、他校にも意見を求めながら、不安な状態で進んでいる。

(2) 各分掌長より指導の重点について説明1

*** 学習指導 ***

報告 基礎学力の定着を目標に取り組んでいる。授業の特徴は、少人数の分割授業やT T（チーム・ティーチング）を全体の80%の授業で取り入れ、一人一人に目が行き届く授業を展開している。一般的には40人を1名の教員で指導するが、県教委から教員の加配があり、単純分割だけでなく習熟度別での分割授業などを充実させている。次年度からの単位制移行に伴うメリットを生かし、さらにきめ細かい指導や、今までなかった科目の開講などができることになる。なかでも工業類型（仮称）は全く新しい取り組みとなる。

(3) 授業参観

第2限の授業を参観

(4) 生徒会執行部による学校紹介

山県高校の1日の紹介、行事、部活動、地域ボランティア各活動等について紹介

(5) 各分掌長より指導の重点について説明2

*** 生活指導 ***

報告 安心して学べる環境づくりを基本にして、生徒一人一人が安心してすごせる学校を目指している。基本的な生活習慣の確立として、授業遅刻の指導に取り組んでいる。今年度6月までで指導数が激増し38件となっている。挨拶を中心に始めたかったが進んでいない。身だしなみの重要性にも言及して行きたい。今年から県の事業ではあるが演劇ワークショップを実施し、コミュニケーション力の向上を図っている。今のところ効果は未知数である。

*** 進路指導 ***

報告 キャリア教育の充実を中心に、各学年の取り組みを展開している。3年生の進路希望は60%強が就職であり、ここ数年続いている傾向である。製造業についての就職者は離職率が低い傾向にある。しかし、勤務地別で見ると、山県市内企業への就職は非常に少なく残念である。求人は、関東などの遠方からも含め豊富であるが、選択する悩みにもつながっている。また、進学は指定校推薦が大半でAO入試も多い。

*** 家庭・地域連携 ***

報告 生徒会の報告にすべて紹介されていた。補足すると、山県市内の3地域の祭りに、吹奏楽部が依頼演奏を実施させてもらっている。また、夏休みには、科学研究部が小学生と一緒に工作をする講座や、理科教員による実験講座などに呼んでいただいている。

*** 事務部 ***

報告 校舎の改修工事がこの夏から本格化する。平成30年度は生徒昇降口と自転車置場、平成31年度から南舎の屋上と外壁と内装、平成32年度には北舎の屋上と外壁と内装、併せてトイレの全洋式化とゼミナール室の床の木質化などが予定されている。

(6) 学校評議員からの提言・感想

- 意見1 授業の様子を見て感じたことは、教材研究も含めて大変工夫されているが、空き時間や放課後の、先生方の労力の大きさや大変さが推察される。TTなどが多いが、教員数増や持ち時間数はどうなっているのか聞きたい。高校に入ってから数学が好きになった生徒もいると聞いたが、先生方の普段の気付きや細やかな指導によるものだと感じた。生徒に変化があるのは教員のおかげであると思う。
- 教員数は、国数理社商で5名の加配をいただいている。時間数は、教員一人当たり週18時間がベースになっている。次年度は16～17時間を基準にするように指示は届いている。
- 意見2 授業の先生の声が大きいのがとても良い。また、習熟度別授業の良さが見られた授業だった。校舎の改修があるということだが、教室の暑さ対策は何とかならないものか。少しでも涼しく授業に取り組ませたいものだ。体育館入り口のマットの破損が激しい。経年劣化によると思うが、あまりにひどいので早急に直した方が良い。単位制への移行については、類型の中に工業系が入るのは、近隣に工業高校がなく、以前から望まれていたことでもありとても良い。また福祉系も必要とされている分野である。
- (意見に対する対応状況に記載)
- 意見3 教室の熱さ対策はぜひお願いしたい。授業で横を向いている生徒への声のかけ方など、先生方の対応が素晴らしい。今後ともよろしくお願いします。

6 会議のまとめ

校長より

本日は大変お忙しい中、この会にご出席いただき、貴重な意見をありがとうございました。今日は湿度も高く、不快指数のとても高い日だった。せめて扇風機は増設していきたい。単位制への移行にともない工業系を設けるが、その実際がとても不安ではある。私たちでは気付けないところへのご指摘、大変ありがとうございました。今後とも意見をいただければ幸いです。

学校評議員の意見に対する対応状況処理表

学校番号 16 学校名 岐阜県立山県高等学校

平成30年度 学校評議員による会議 第(1)回終了後

月 日	大分類	小分類	意見の要点	対応状況
年間	③その他	学校施設	・体育館周囲に設置してある、靴の上下使用の区域分け用マット（ジョイントすの子）が、経年劣化で破損している。改修の予算請求をする必要がある。	・予算請求も含め検討する予定
	③その他	学校施設	・教室があまりに暑いので、エアコンの設置は無理なのか。せめて扇風機の増設をしたほうがよい。	・同窓会にも働きかけ、H31から始まる校舎改修工事に合わせて、設置を検討していく。

注) 1 学校評議員の意見のうち、対応を求められたもの、あるいは何らかの対応が必要と認められるものについて記入すること。

2

大分類は、次の3分類に整理して記入すること。

- ① 学校運営
- ② 教育活動
- ③ その他

3 小分類は、例えば「国際交流の推進」「学校施設の開放」「教職員の資質向上」等、意見を端的に表現した言葉を記入すること。

4 対応状況処理表は、前回の分に追加して記入してください。

5 前回から対応状況に変更があった場合は、該当箇所を更新してください。

6 「学校評議員による会議」以外の場での学校評議員の意見についても、本様式により整理すること。